

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

クマなく さんぽ



品川区

東京2020大会のレガシーを活かす 「アイルしながわ」

2022年(令和4年)10月にオープンした「アイルしながわ」は、旧東品川清掃作業所を、パラスポーツをはじめとするスポーツと文化の活動拠点として活用することで共生社会の実現を目指すとともに、まちのにぎわいを創出しています。

スポーツと文化活動を支援

品川区が東京都からの移管を受けた旧東品川清掃作業所が、2020年度(令和2年度)までの清掃事業用途指定期間を終了し、スポーツと文化を中心とした活動の拠点施設「アイルしながわ」として生まれ変わりました。

品川区では、2021年(令和3年)に開催された東京2020パラリンピック競技大会をきっかけに、「ブラインドサッカー」を応援してきました。アイルしながわでは、東京2020大会で培われたレガシーを活かし、パラスポーツをはじめとするスポーツ団体などの支援活動を継続しています。また、アーティストの制作や展覧に関しても支援しています。

練習や発表会など多様に活用

利用できる設備は、バスケットゴールのある「スポーツコート」と、アート作品の展示やコンサートなど多目的に利用できる「ユーティリティエリア」、屋外の「外周エリア」の3エリアです。建物の外壁や屋内には大型の壁面アートが描かれており、この場所でスポーツを楽しむことができます。

ブラインドサッカーや車いすバスケットといったパラスポーツの練習やスポーツの体験イベントのほか、アート制作のワークショップ、オーケストラのコンサート、バンド・劇団・ダンスの練習、マルシェ、防災訓練など、利用者の自由な発想のもとに、さまざまな用途で活用されています。

デフスポーツ^{*}の啓発にも注力

2025年には、日本初の「東京2025デフリンピック」が、東京で開催されます。アイルしながわでは、このデフリンピック東京大会に向けて昨年と今年秋に、デフスポーツの普及啓発と聴覚障害の理解促進を通じて、共生社会の実現に寄与することを目的に「デフスポーツ&アートフェア」を開催しました。

今後は、パラスポーツや文化活動への支援とともに、多様なニーズに対応できる運営体制を整え、イベント会場としての利用も促進することで、まちのにぎわいの創出を目指していきます。また、施設の認知度を向上させ、比較的利用の少ない平日午後の利用を増やしたいと考えています。

^{*}耳が聞こえない(Deaf)方のための競技



▲▼壁面アートのある「スポーツコート」



▲屋外イベントに最適な「外周エリア」



▲アートや音楽活動等に活用されている「ユーティリティエリア」

2023年10月14日(土)に開催された 「デフスポーツ&アートフェア」

デフサッカー体験教室や手話アートのワークショップ、音を体で感じる音楽鑑賞会、サインマームによるワークショップなど、障害の有無に関わらず誰でも楽しめる内容で、多くの参加者で賑わいました。



アイルしながわ(旧東品川清掃作業所)

所在地 品川区東品川2-3-2
開館時間 13:00 ~ 21:00、土日祝9:00 ~ 21:00
休館日 第3火曜、12/29 ~ 1/3、その他品川区が定める日時
利用料金 無料(利用には事前登録と予約申し込み等の条件あり)
アクセス りんかい線・東京モノレール天王洲アイル駅すぐ
お問い合わせ アイルしながわ事務局
03-6433-2130

